

大学eラーニング協議会 総会

2016年3月17日

信州大学 長野(教育)キャンパス

審議

審議：会長選出

- 現会長 穂屋下 茂 が2期目再任を承認

審議：2016年度代表幹事校

- 帝塚山大学が代表幹事校となることを承認

審議： 平成27年度 決算

大学eラーニング協議会 平成27年度決算報告

自：平成27年 3月 1日
至：平成28年 2月28日

(収入の部) (単位:円)

科目	平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	差 (予算-決算)	摘要
年会費収入	1,440,000	1,440,000	0	年会費:39校×@30,000=1,170,000 8社×@30,000=240,000 (未納5大学)
臨時会費収入	200,000	0	△ 200,000	
受取利息	100	133	33	預金利息
雑収入	0	0	0	
預り金	0	0	0	
前年度繰越金	282,265	281,761	△ 504	
			0	
			0	
合計	1,922,365	1,721,894	△ 200,471	

(支出の部)

科目	平成27年度 予算額	平成27年度 決算額	差 (予算-決算)	摘要
消耗品費	2,365	1,620	△ 745	事務用品他
旅費交通費	200,000	229,590	29,590	eLaward2015出張旅費(事務局1名)他
通信運搬費	80,000	7,368	△ 72,632	パンフ、ニュースレター、総会ポスター等送料
印刷製本費	600,000	375,155	△ 224,845	パンフ、ニュースレター、総会ポスター等印刷
会議費	300,000	99,081	△ 200,919	総会・フォーラム2015(佐賀大学)情報交換会費 公開フォーラム打合せ等
報酬委託手数料	390,000	416,964	26,964	ソフトウェア利用料 e-Learning Awards2015スポンサー料 振込手数料
助成金	200,000	0	△ 200,000	
部会活動費	100,000	0	△ 100,000	
公租公課	0	0	0	
渉外費	0	0	0	
次年度繰越金	50,000	592,116	542,116	預金:562,116円 税金:504円
計	1,922,365	1,721,894	△ 200,471	

会計監査報告

平成28年 3月 1日、岩手県立大学において平成27年度の会計について監査を執行し、収入・支出ともに正確に記帳整理されており、帳簿・証憑書類の保管は完全であることを認める。

平成28年3月1日

監査校 岩手県立大学 高木 正剛



審議： 平成28年度 予算

大学eラーニング協議会 平成28年度予算(案)

自：平成28年 3月 1日
至：平成29年 2月28日

(収入の部) (単位:円)

科目	平成27年度 予算額	平成28年度 予算額	増減額 H28-H27	摘要
年会費収入	1,440,000	1,440,000	0	年会費:44校×@30,000=1,320,000 8社×@30,000=240,000
臨時会費収入	200,000	200,000	0	総会・7/～11/2016 懇親会費
受取利息	100	100	0	
雑収入	0	0	0	
前年度繰越金	282,265	592,116	309,851	
合計	1,922,365	2,232,216	309,851	

(支出の部)

科目	平成27年度 予算額	平成28年度 予算額	増減額	摘要
消耗品費	2,365	2,216	△ 149	事務用品他
旅費交通費	200,000	300,000	100,000	フォーラム・セミナー等講師旅費
通信運搬費	80,000	80,000	0	郵便料・宅配料
印刷製本費	600,000	600,000	0	パンフ、ニュースレター、チラシ・ポスター印刷
会議費	300,000	300,000	0	総会・7/～11/2016情報交換会費 公開フォーラム打合せ等
報酬委託手数料	390,000	500,000	110,000	講師旅費 eラーニングアワード2016スポンサー料 振込手数料 ソフトウェア利用料
助成金	200,000	200,000	0	総会・フォーラム2016運営助成金
部会活動費	100,000	100,000	0	第1、第2、第3部会
広報活動費	0	50,000	50,000	寄附金(会員助成金)
公租公課	0	0	0	
渉外費	0	0	0	
次年度繰越金	50,000	100,000	50,000	
計	1,922,365	2,232,216	309,851	

報告

新規入会

- 加盟大学
 - 和歌山大学
 - 東京家政大学
 - 名古屋工業大学
 - 國學院大學
 - 八戸工業大学
- 平成28年度当初の加盟校数は、45校
- 賛助会員
 - オックスフォード大学出版局
 - 今年度末に1社退会
- 平成28年度当初の賛助会員数は、8法人

活動報告：事務局

- ニュースレターの発行
 - NO.11(2014 vol.1) 2015年9月30日
 - NO.12(2014 vol.2) 2016年1月29日

大学eラーニング協議会総会 第一部会

CCC-TIESの活動報告(2015年度)
及び
計画(2016年度)

2015年度の振り返り

CHiLOの普及拡大

CCC-TIESのビジョン

高等教育の連携・共有・公開

取組状況

◆ オープンエデュケーションの推進

- ▶ CHiLO Book公開大学
放送大学・帝塚山大学・北海道大学・群馬大学・大手前大学・関西学院大学
- ▶ 10シリーズ79冊
- ▶ 合計13万冊ダウンロード

◆ 学内教育の活性化

- ▶ CHiLO導入大学
帝塚山大学・大阪体育大学・山梨大学・放送大学

◆ グローバル展開

- ▶ JICA事業によるイランへのCHiLO導入
背景:イランのPC普及率:34% インターネット普及率:30% スマートフォン普及率:67%
CHiLOの特徴
→スマホで学習可能(モバイルラーニング)
→オフラインで学習可能
→システムの全てがオープンソース

Copyright © 2015 CCC-TIES All rights reserved.

日本の高等教育における現状

◆ eラーニングはほぼすべての大学へ

- ▶ 既に多くの大学が何らかのeラーニングを取り入れている
(システムは導入している)
- ▶ 今後は活用方法の充実を模索

◆ MOOCから生まれた活用方法の模索

- ▶ 反転授業・アクティブラーニングなど、ICTの新たな活用方法が模索される

◆ JMOOCから生まれた活用方法模索

- ▶ オープンエデュケーションへの認知が高まる
- ▶ 10万人以上の受講者
- ▶ 持続的なコンテンツ確保、資金確保の模索

Copyright © 2015 CCC-TIES All rights reserved.

2016年度の実施計画(CCC-TIES)

重点目標

CHiLOの特徴を活かし

- ◆ オープンエデュケーションと高等教育機関の教育の質向上への貢献
- ◆ ユーザーニーズに対応したメニュー体系の開発
- ◆ 財源確保を目的とした新法人の設立検討

CHiLOの特徴

1. スマホ、PCなどのマルチデバイス対応
2. 反転学習・アクティブラーニングに効果的
 - ▶ 細切れビデオは学習者の集中力を高め、学習負担を軽減
3. 多様な学習環境に対応
 - ▶ オンライン（クラウドCHiLO Reader）
CHiLO Bookをダウンロードせず手軽に学習
 - ▶ オフライン（CHiLO Readerアプリ）
リーダーアプリにCHiLO Bookをダウンロードして学習
4. 制作→学習→学習管理をトータルサポート
5. Moodleベースでオープンソース提供



具体的な実施計画

良質なeラーニングを、より手軽に、より安く

- ◆ CHiLO Book制作の低価格化
 - ▶ 1冊2万円～
- ◆ CHiLOクラウドの提供
 - ▶ 中小規模の組織でも手軽に素早くCHiLOを利用するためのCHiLOシステムのSaaS提供（月額2万円～）
- ◆ CHiLO講習会の開催
 - ▶ 組織内で自立的、継続的にCHiLOを利用するためのCHiLO活用講習会

Copyright © 2015 CCC-TIES All rights reserved.

UeLAへの貢献

ご了解いただければ次のようなリソースが提供可能

- ▶ CHiLOクラウドの提供
 - ☑ UeLAのMoodle上に構築可能
- ▶ CHiLOのオープンソースの提供
 - ☑ CHiLO Reader
 - ☑ CHiLO Producer
- ▶ CHiLO講習会の提供

Copyright © 2015 CCC-TIES All rights reserved.

活動報告：第2部会

- 教材整備・共有(8大学連携を中心に)

SPI対策, 日本語語彙等, 数学(統計), 英語(マクミラ
ン Prismシリーズ, TOEIC文法問題, TOEIC模試), キャ
リア形成(マインドマップ)

- 共通基盤システムの利用説明会の実施

- 創価大学(FDフォーラムにて:2015年2月20日)
- 佐賀大学(FDフォーラムにて:2016年2月20日)
- 信州大学(総会にて)

活動計画：第2部会

協議会会員間の情報共有サイトの構築

- 共通基盤システムを活用している大学の事例集の公開
- 必要に応じて講師派遣・視察受け入れ

活動報告：第3部会【ICT活用教育事例部会】

FD・SDセミナーへの協賛

- 日時：2016年2月20日（土） 会場：佐賀大学
- 講演：「歯車設計・製作からeラーニングデザイン・マネージメントへの展開」
穂屋下 茂 氏（佐賀大学全学教育機構 教授）
- 基調講演：「ネットワーク型FD・SDに期待するもの」
河本 達毅 氏（文部科学省 高等教育局 大学改革推進室）
- 主催：8大学連携事業（文部科学省 大学間連携共同教育推進事業）
- 協賛：大学eラーニング協議会



活動報告：第3部会

- 文化審議会著作権分科会

- 法制・基本問題小委員会(第2回)におけるヒアリング対応

- 日時:平成27年7月24日(金) 13:00~15:30

- 場所:文部科学省旧庁舎6階 第2講堂

- 教育の情報化の推進について, 先行的な取組を行っている教育関係者として著作権に関わる意見を述べた

活動計画：第3部会【ICT活用教育事例部会】

- 第2部会と連携した講習会等の実施

- FD・SDセミナーやフォーラムについて

- 後援、協賛、共催等に対応

活動報告：8大学連携事業 (大学間連携協同教育推進事業)

- プレイメントテスト及び到達度テストの利用許可
- 共通基盤システム上の教材提供
 - クラウド型のサービス
 - SCORMパッケージによる提供

活動計画：8大学連携事業 (大学間連携協同教育推進事業)

- 利用希望の大学は、小松川までメールを下さい。
 - 平成28年度は無料で利用(平成29年度以降は、クラウドの費用を按分)
- 協議会HP上で、共通基盤を用いた大学毎の事例(視察・講師派遣可能内容)
(例) 千歳科学技術大学:理数系の入学前教育,キャリア教育でのSPI対策、英語の自主学習(マクミランプリズム)

活動報告：Webサイトリニューアル



活動報告：書籍発行

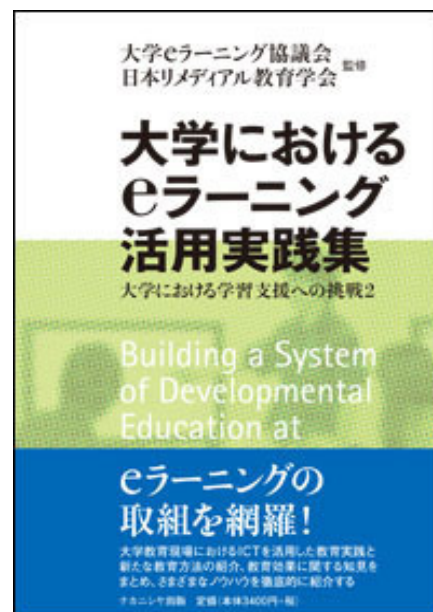
- 大学におけるeラーニング活用実践集
～大学における学習支援への挑戦2～

- 発行：株式会社 ナカニシヤ出版

- 発行日：2016年1月30日

- 価格：3,400円＋税

- 監修：大学eラーニング協議会・日本リメディアル教育学会



活動計画：ミーティング

- 幹事校ミーティング/部会ミーティング
 - 2016年9月8日(木) 午後
山梨大学 マハラフォーラムと連動
 - 2016年12月3～4日
桜の聖母短期大学 8大学連携事業・日本リメディアル
教育学会東北支部とジョイント

活動計画：e-Learning Award2016

- e-Learning Award2016 フォーラム
 - 日時：2016年10月28日(木)
 - e-Learning Award2015は、2015年10月27日(水)～29日(金)

事務局体制

- 監査
 - 岩手県立大学
- 代表幹事校
 - 帝塚山大学
- 広報
 - 帝塚山大学
 - 信州大学
- 事務局
 - 佐賀大学
 - 千歳科学技術大学
 - 創価大学
 - 金沢電子出版

活動計画：総会・フォーラム2016

- 日時：2017年3月
- 開催校：帝塚山大学